

メンタルヘルス通信



ココロリフレッシュルーム Vol:51 2011・6・1

○ 衣替え

6月になりました。沖縄や九州に続き、近畿など西日本では例年より早い梅雨入りとなり、東日本でも例年より早く、そろそろ梅雨入りするのではないかと報道されていました。北海道は梅雨がないので、太陽の陽ざしを感じられる気持ちの良い季節です。

さて、6月は衣替えの時期ということでメンタルヘルス通信も少し衣替えをしてみました。「字が小さいし、たくさん書いてあって読みづらい」と思っていた人はいませんか？読みやすくなるように、フォントなどを変更してみたのですが、いかがでしょうか？みなさんに気軽に手に取って読んでいただけるようにこれからも工夫していきますので、何かお気づきの際は教えて下さい！



○ 人権擁護委員の日

6月1日は“人権擁護委員の日”です。みなさん人権擁護委員を知っていますか？人権擁護委員は、法務大臣が委嘱した民間の人たちです。地域住民が人権について関心を持てるような啓発活動を行っていたり、法務局・地方法務局の人権相談所や市役所などの公共施設等において地域住民からの人権相談を受けるなどの活動を行っています。昨年度は当法人においても、札幌法務局室蘭支局のご協力を得て人権擁護委員をお招きし、人権について考える研修を行うことができました。多くの職員が参加下さり、人権について考えることができました。今年度も人権について学ぶ機会を持ちたいと考えていますので皆さんぜひご参加下さい。



○ 今年は開催！！

3月の地震発生以来、にぎやかなことは慎もうという自粛ムードが全国へと一気に広がり、各地で開催が予定されていたお花見やお祭などのイベントが中止されることもありました。現在は、被災地復興のためにも経済を活性化させようという動きが高まり、被災地のB級グルメやお酒の販売を行うなどといった被災地復興イベントが企画開催されています。比較的被害の少なかった北海道でも、節電などの取り組みが継続してなされています。みなさん、おいしい“イチゴ”食べたいですか？おいしい“豚肉”食べたいですか？勘の鋭いみなさんは、もうお気づきですね。そうです、昨年口蹄疫の問題により中止された“いちご豚肉まつり”が、今年は6月5日(日)に無事開催されることが決定しました！！今年度は第40回のメモリアル開催で、東日本大震災復興支援をうたっています。会場は豊浦町の豊浦海浜公園です。詳細は豊浦町HPをご覧ください！



§：26 身体障害

施設で暮らす方々や各種サービスを利用されている方々の中には、身体障害を抱えている方も少なくはありません。今回はおおまかな身体障害について考えていきたいと思います。

○ 身体障害

視覚障害：視覚は光覚、視力、視野、眼球運動、調節、屈折、両眼視の諸機能から成り立つ。
法的な視覚障害は視力と視野の障害に比重をかけた見方をしている。

全盲：視力が全くない状態の絶対盲、光覚盲、色覚盲、手動盲などに区分される。

弱視：残存視力があるもの。

聴覚障害：聴覚には音を伝える伝音系と音を感じる感音系に分けられる。

聴覚障害はそのいずれかの障害によって生じる。

聴力損失の程度によって軽度難聴、中等度難聴、高度難聴、全ろうなどに区別される。

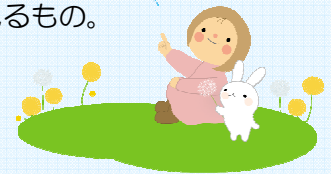
肢体不自由：四肢や体幹に機能障害がある状態。 脳の損傷に起因したものと非脳損傷の原因に起因したもの（肢切断、脊髄損傷、関節機能障害）に大別できる。

内部障害：心臓、じん臓または呼吸器機能の障害、その他政令で定める障害で、永続し、かつ日常生活が著しい制限を受ける程度であると認められるもの。

言語障害：音声機能、言語機能または咀嚼(そしゃく)機能の障害。

音声障害：声の質、強さ、高さの異常

構音障害：音を構成する音声器官、機能の特性からの発音の障害



身体障害には、視覚障害や聴覚障害、肢体不自由など上記のように様々な障害があります。私たちは五感をフル活用して生活しています。特に、視覚から得られる情報は多く、視覚障害は日常生活に大きな影響を与えます。障害を受けた感覚や機能を補うために他の感覚や機能が発達します。（例：視覚障害を抱える方が聴覚からの情報で位置がわかる）

また、聴覚障害や内部障害のように、一見すると障害を抱えているとはわからない障害もあります。外見ではなかなかわからない障害は、理解されにくいこともあり障害を抱える本人が大きな葛藤を抱くとも言われています。〇〇障害と一口に言っても、障害の原因や障害を抱えた年齢なども人それぞれですので、その実情は一人ひとり異なっています。

社会的には、車椅子専用トイレやオストメイト対応トイレなど、身体障害を抱える人が生活しやすい環境が整備されてきましたが、“心のバリアフリー”は今一つではありませんか？

「〇〇障害の〇〇さん」とか「〇〇さんは〇〇障害だから」と障害を抱えていることにとらわれていたり、障害という言葉に縛られてはいませんか？

障害を抱えていてもそうでなくても、“〇〇さん”であることに変わりはないと思います。

次回は、障害の受容と心のバリアフリーについて考えていきたいと思います。



6月はYOSAKOIソーラン祭りなど道内各地で様々な催しが企画されています。

北海道も観光シーズン突入。交通量も多くなってきますので、運転には注意しましょう！

***心が重たいと感じる時はありませんか？ ココロリフレッシュルーム 0142-76-4780**

社会福祉法人 幸清会 ・ 社会福祉法人 大滝福祉会